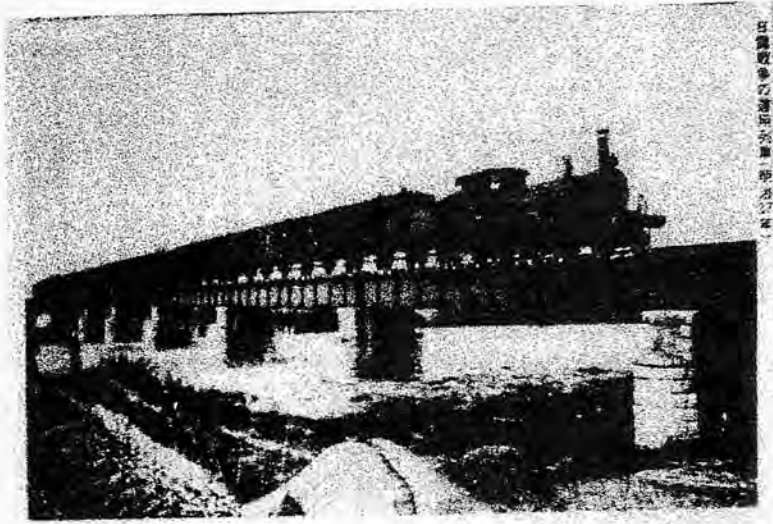
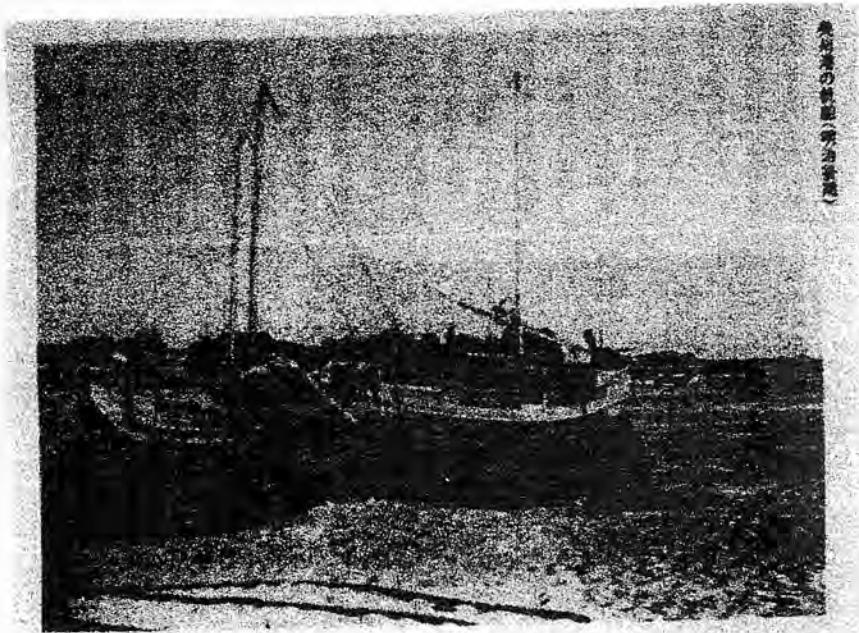


## 明治の置き土産

日清戦争時に敦賀まで行軍した、第七連隊の軍人たちは日射病で現地に行く事無く無念の涙をながしたが、既に将来のロシアとのトラブルを予想していた、政治は明治三十七年に手取川の鉄橋を完成し、写真のように軍用列車を走らせた。北前船の写真も当時のものである。



日清戦争の遺跡(明治37年)



北前船の群像(明治38年)

下部の写真は、金澤市街を武装した日本兵に引率されて行進するロシア兵の捕虜の列である。

当時、憎らしい相手に対して最大の軽蔑の仕草は、尻を叩いて「あかんべえ」をする事だったそう。

私の祖父の話では、鉄道で金澤に向かうロシア兵の捕虜に対して誰それが、お丁寧にも、褌を外して、尻を叩いたという話……ホントカドウカ。



金澤市街を通るロシア軍捕虜(明治38年)